

一般社団法人岩手県理学療法士会

令和7年度第49回定時社員総会

開催日時 令和7年6月15日（日）14：40～15：50

開催場所 アイーナいわて情報交流センター

出席者数 総社員 1078 名中 出席社員 662 名

（出席 146 名 議決権行使書 283 名，委任状 235 名）

出席理事 及川龍彦 佐藤英雄 武田浩二 林 雄史 関 公輔 佐藤晋樹 及川 哲
野中一成 三浦正徳 小林太志 久野純治 藤井祐輔 澤口裕樹 吉田裕也

出席監事 佐藤一浩

事務局長 菊池賢汰

欠席理事 菅野 泉

欠席監事 多田勇紀

議長選任

14時40分に武田浩二副会長が開会を宣言し、菊池賢汰事務局長より本日の社員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が述べられた。続いて当会定款に従い、議長として代表理事 及川龍彦氏 が選任された。

議長より挨拶の後、議事録署名人ならびに書記の立候補について意見が述べられ、立候補者なく、議長は次の者をそれぞれ指名した。

議事録署名人 及川 真人 氏（岩手リハビリテーション学院）

同 小澤 斉 氏（岩手県立中央病院）

書 記 四日市綾香 氏（八角病院）

同 金野 智志 氏（東八幡平病院）

第1号議案「令和6年度事業報告」承認の件

第2号議案「令和6年度収支決算」承認の件

第3号議案「令和6年度監査報告」承認の件

議長より、令和6年度事業報告、令和6年度収支決算、令和6年度監査報告の内容について執行部より説明するよう述べられた。これに対し、佐藤英雄副会長より令和6年度事業概要、菊池賢汰事務局長より事業報告がなされた。続いて、菊池賢汰事務局長より令和6年度収支決算について説明がなされた。令和6年度監査報告については、佐藤一浩監事より決裁書類及び事業書類を精査した結果、会計処理手続ならびに書類等が正確であることが報告

された。

議長より本議案について質問・意見が求められたが特になく、賛成 660, 反対 2, で賛成多数をもって承認された。

第 4 号議案「令和 7・8 年度役員」承認の件

議長より、令和 7・8 年度役員について選挙管理委員より説明が求められた。選挙管理委員より、令和 7・8 年度一般社団法人岩手県理学療法士会役員の選出は任期満了に伴い、一般社団法人岩手県理学療法士会定款 13 条並びに第 14 条、選挙規程に基づき本年 5 月 1 日に立候補の受付を開始し、5 月 16 日に届出を締め切った旨が説明された。結果、理事立候補者は定員 14 名以上、17 名以内のところ、自由意志立候補として下記の者が立候補した旨が説明された。

理 事	菊池賢汰氏（岩手リハビリテーション学院）
同	久野純治氏（岩手県立遠野病院）
同	及川龍彦氏（岩手リハビリテーション学院）
同	武田浩二氏（盛岡つなぎ温泉病院）
同	澤口裕樹氏（荻野病院）
同	藤岡 求氏（とちない脳神経外科クリニック）
同	小林太志氏（盛岡つなぎ温泉病院）
同	及川 哲氏（岩手県立中央病院）
同	佐藤英雄氏（いわてリハビリテーションセンター）
同	佐藤晋樹氏（菅整形外科）
同	関 公輔氏（いわてリハビリテーションセンター）
同	三浦正徳氏（南昌病院）
同	藤井祐輔氏（岩手医科大学附属病院）
同	野中一成氏（もりおか往診ホームケアクリニック）

以上、立候補届出順

立候補者は定員内であり無投票当選となることから、一般社団法人岩手県理学療法士会定款第 13 条 1 号並びに選挙規定 16 条 9 号により、理事立候補者の選出選挙は行われない旨が説明された。監事については定員 2 名の所、下記の者が立候補した旨が説明された。

監 事	佐藤一浩氏（岩手県立中央病院）
-----	-----------------

佐藤一浩氏については、定員内であることから無投票当選となる旨が説明された。なお、一般社団法人岩手県理学療法士会選挙規定第16条8号により理事会にて残り1枠の幹事候補者を推薦していただきたい旨が説明された。これに対し、理事会から下記の者が推薦された。

監 事 多田勇紀氏（多田勇紀税理士事務所）

議長より、選挙管理委員より説明があった理事候補者ならびに監事候補者について承認手続をとる旨が説明された。結果、賛成660名、反対2、賛成多数をもって承認された。承認された役員は下記の通り。

理 事（重任）	及川龍彦	氏
理 事（重任）	及川 哲	氏
理 事（重任）	久野純治	氏
理 事（重任）	小林太志	氏
理 事（重任）	佐藤晋樹	氏
理 事（重任）	佐藤英雄	氏
理 事（重任）	澤口裕樹	氏
理 事（重任）	関 公輔	氏
理 事（重任）	武田浩二	氏
理 事（重任）	野中一成	氏
理 事（重任）	藤井祐輔	氏
理 事（重任）	三浦正徳	氏
理 事（新任）	菊池賢汰	氏
理 事（新任）	藤岡 求	氏
監 事（重任）	佐藤一浩	氏
監 事（重任）	多田勇紀	氏

以上、五十音順

尚、選挙管理委員より会長・副会長の選任については一般社団法人岩手県理学療法士会定款14条3項ならびに第4項により、理事の互選によって選出される旨が説明された。

報告事項

「令和7年度事業計画・収支補正予算」

「日本理学療法士協会動向」

「東北ブロック協議会動向」

「岩手県リハビリテーション専門職協議会動向」

及川龍彦会長より、令和7年度事業計画・収支補正予算、日本理学療法士協会動向、東北ブロック協議会動向、岩手県リハビリテーション専門職協議会動向について説明された。

質疑応答

問1 今年度の士会事業の報告、理事会等で話し合っていることがあれば教えていただきたい。

答1 基本的には通年行っている事業を基盤に実施する予定である。また昨年度より事業を拡大している産業保健分野にも力を入れていく予定である。併せて、岩手県が推奨しているシルリハ事業の推進についても引き続き注力する方針としている。学術・教育系に関しては、登録理学療法士のポイント取得を推進できるよう研修会の継続的な開催を計画している。これに加えて、会員の学術活動を推進できるよう、研究支援に関するサポートも充実化できるよう力を入れていく予定である。（及川会長）

問2 理事会にて役務費が検討されていると思うが、支部長は含まれるのか。

答2 士会活動に協力いただいた方を対象としているため、支部長も対象になる。（及川会長）

問3 事務業務を他団体へ業務委託しているということだが、今行なっている事務業務の何割くらいを委託しているのか。

答3 何割といった数字での表現は難しいが、事務部長への事務所宛文書運搬、事務所宛電話受付、簡易文書作成、文書推敲、FAX送信、刊行物発送支援、ホームページ運用、事務所内保管物管理が主な委託内容である。（及川会長）

問4 昨年度の組織改編で広聴課が設立されたが、現時点での相談件数は何件か。また今後の活動について検討されていることがあれば教えていただきたい。

答4 現時点では0件である。会員への周知に引き続き力を入れていきたいと考えているが、会として会員各位の意見を事業に反映できるよう活動を進めていきたい。（佐藤晋樹理事）

少人数職場の会員の声も幅広く取り入れることを目的に立ち上げた部署である。ホームページやLINEからもアクセス可能であるため、積極的に意見をあげていただきたいと考えている。（及川会長）

以上をもって全ての審議が終了し、 15時50分に関公輔常務理事が閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、書記 四日市綾香ならびに金野智志が議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人はこれに記名押印する。